

(参考資料)

■ 加入者アンケート調査結果の詳細

(2017年9月～11月実施 当社「加入者アンケート」結果より)

(注) 複数回答可の場合、回答結果「その他」については割愛しています。

本調査レポートの百分率表示は小数点第1位で四捨五入の丸め計算を行っているため、合計しても100%とならない場合があります。

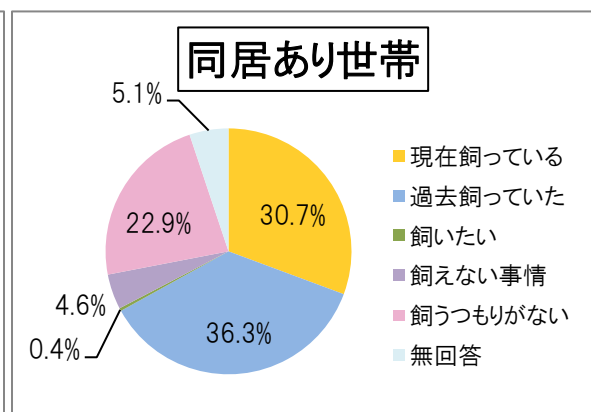
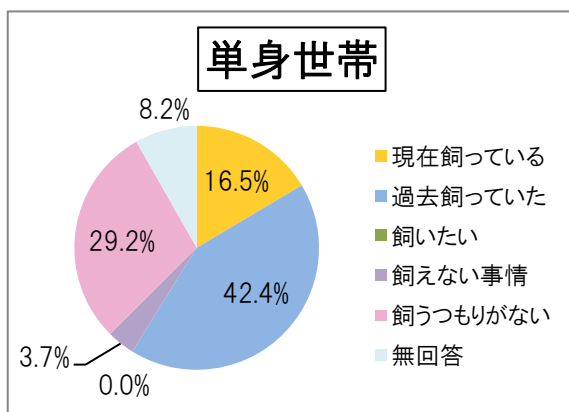
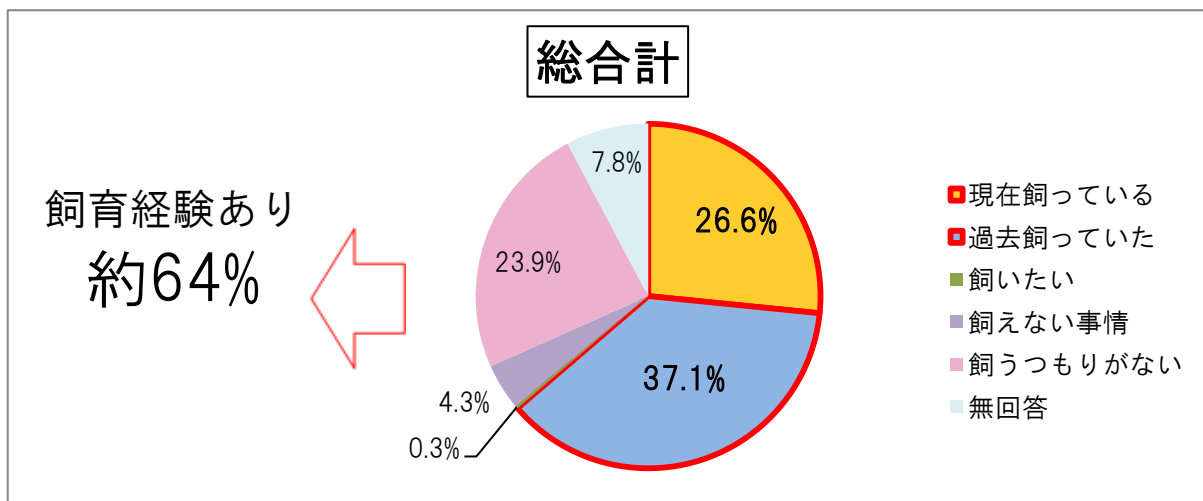
☆印は回答者の自由記載コメントから抜粋したものです。

【1】 犬・猫を飼ったことがありますか？

- ・ 飼育経験ありは、全回答者の6割超となった。
- ・ 単身世帯(以下、単身)と同居あり世帯(以下、同居)別にみると「現在飼っている」は単身が16.5%、同居は30.7%と倍近い比率となった。

「過去に飼っていた」は単身が42.4%、同居が36.3%となり、「飼うつもりがない」は単身が29.2%、同居が22.9%と各々世帯別で約6～7ポイントの差が出た。

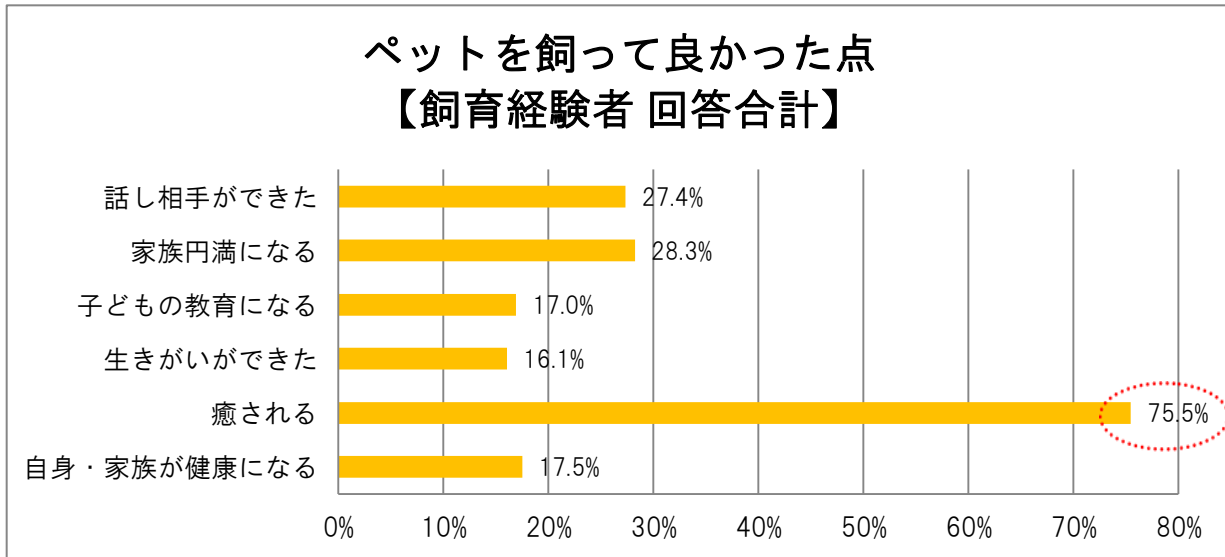
☆単身で「過去に飼っていた」「飼うつもりがない」のポイントが高くなっている理由として、「自分の年齢が年齢なので、先に亡くなった後、犬猫がどうなるか先の事を考えるととても飼う事が出来ない(86歳女性)」など、自身の年齢における懸念を挙げるコメントが多くありました。



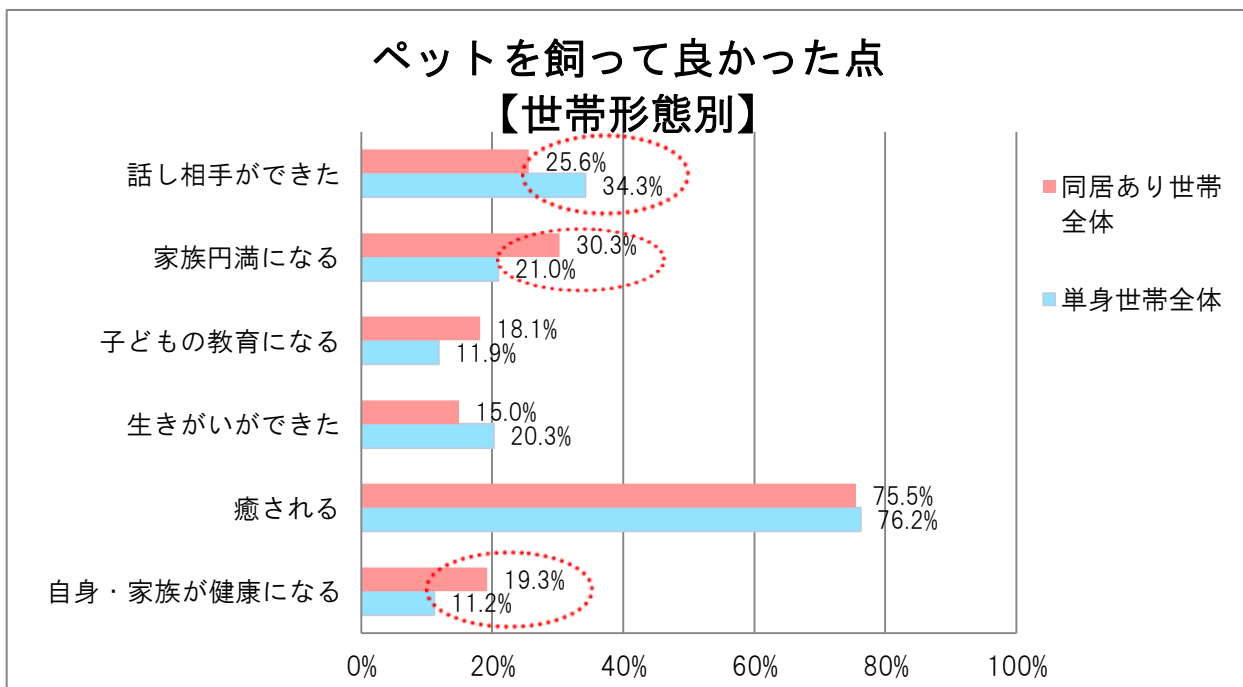
【2】-①犬・猫を飼っていて良かったと思う点は何ですか？ [複数回答可]

※以降は【1】で現在、過去に飼育経験がある回答者を対象

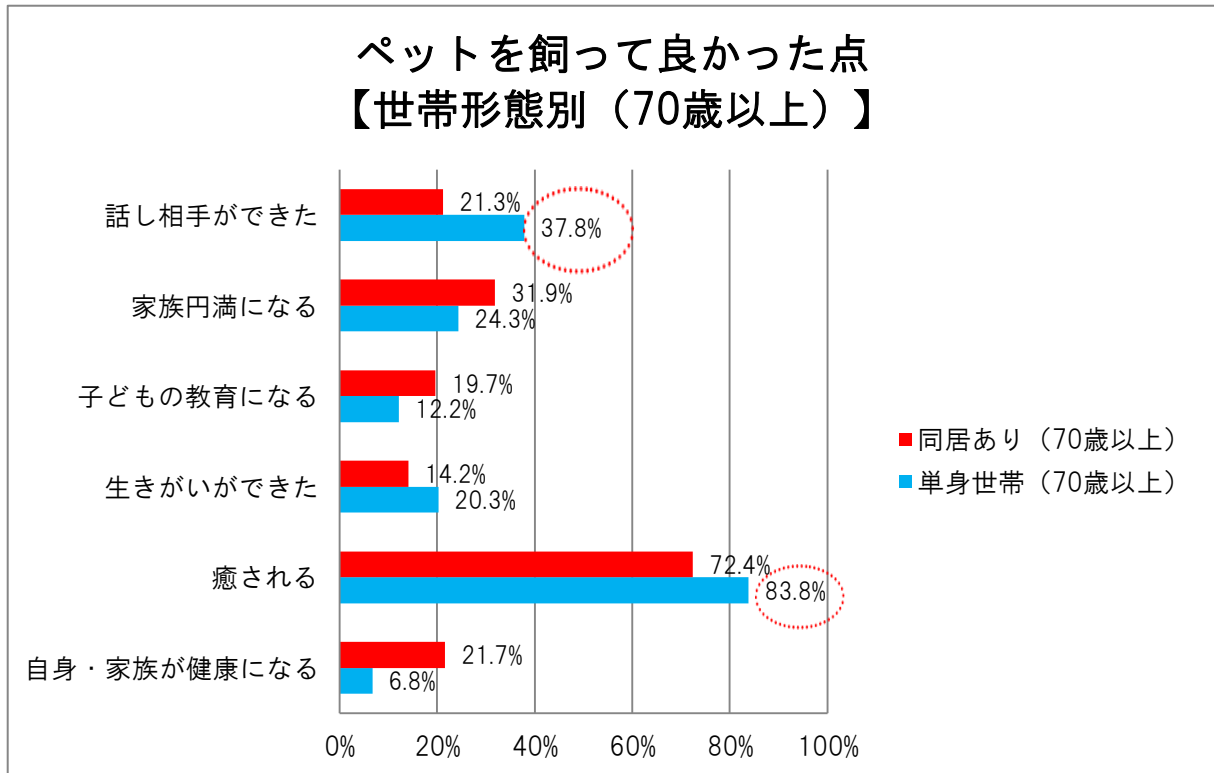
- ペットによる「癒し効果」は飼育経験者4人に3人が実感。
- ・全体回答では75.5%の方が「癒される」を挙げ、最も多い回答となった。



- 「ペットの役割」は単身世帯では、話し相手の傾向がより高い。
- ・単身・同居の世帯別にみると、単身では「話し相手」が34.3%と同居（25.6%）に対して、8.7ポイントも高い結果となりました。逆に同居が単身を上回る回答となったのは、「家族円満になる」「自身・家族が健康になる」が各々8~9ポイントも高い結果となりました。



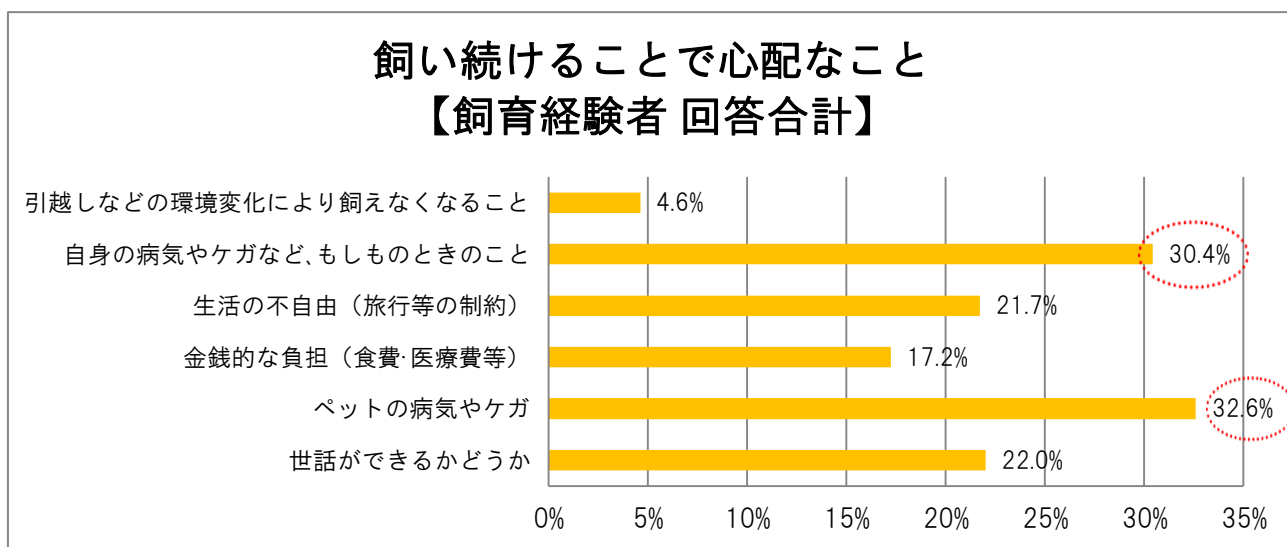
- 70歳以上では2番目に多い回答が世帯形態別で分かれ、単身は「話し相手」、同居は「家族円満になる」となった。
- ・回答対象を70歳以上に絞ると、単身70歳以上では「話し相手ができる(37.8%)」、「癒される(83.8%)」のポイントが上昇している。特に「癒される」は単身全体(76.2%)より7.6ポイント高くなり、大きな差がみられた。
- ・同居70歳以上では、「癒される(72.4%)」に「家族円満になる(31.9%)」が次ぎ、「自身・家族が健康になる(21.7%)」が同居全体よりも高いという傾向がみられた。



【2】-②この先、飼い続けていくことで心配なことはありますか？【複数回答可】

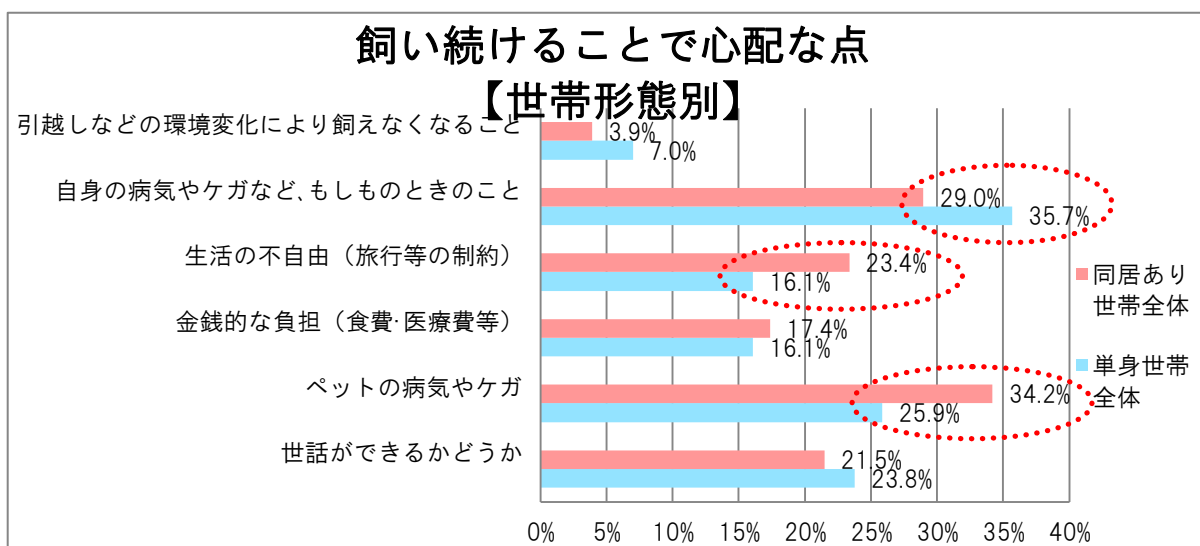
■健康面の心配、対象は1位がペット、2位は自身。

- ・飼育経験者 回答合計では、「ペットの病気やケガ（32.6%）」が第1位、次いで「自身の病気やケガ（30.4%）」と、健康面を気にかける回答が並んだ。

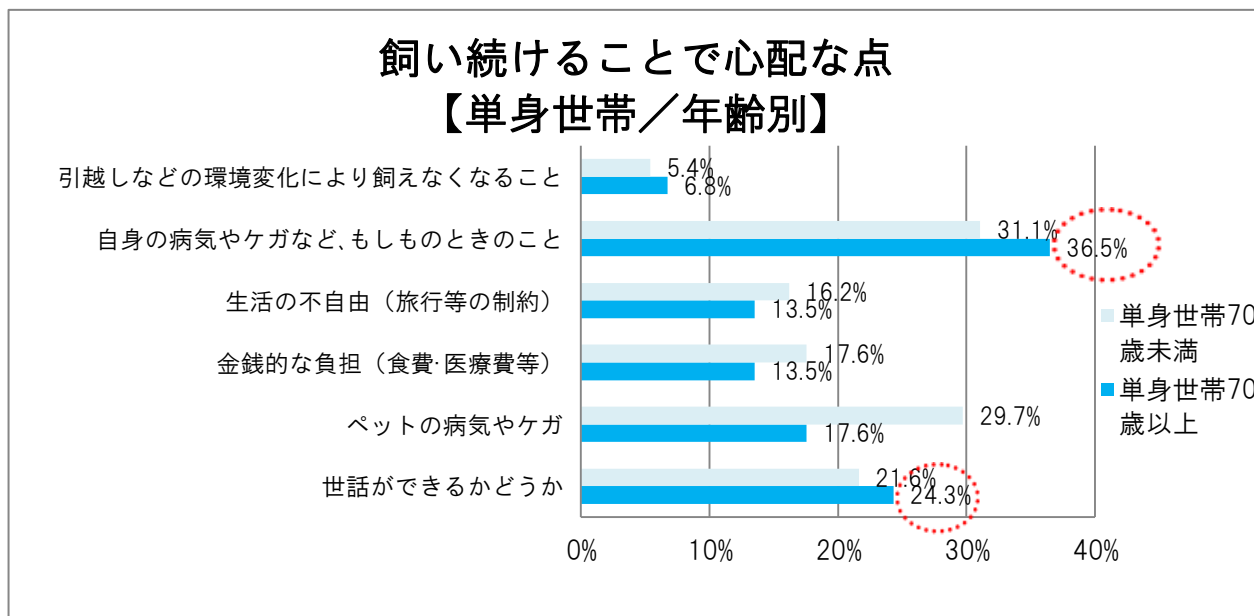


■ペットを飼う上での心配ごと、単身世帯では飼い主である「自身の病気やケガ」が第1位。

- ・単身・同居の世帯別にみると、同居では「ペットの病気やケガ（34.2%）」が総合計と同じく1位だが、単身では「ペットの病気やケガ（25.9%）」を約10ポイント上回り、「自身の病気やケガ（35.7%）」の心配が最も多くなった。
- ・同居で、単身と比較して高い回答率となったのは、「生活の不自由（旅行等の制約等）（23.4%）」であった。



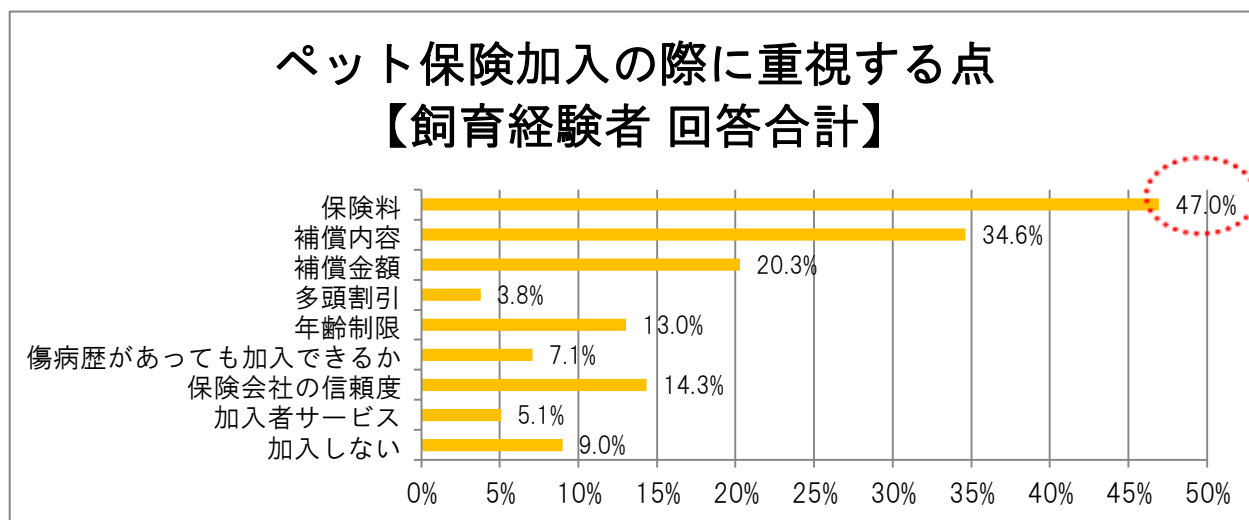
- 単身 70 歳以上の飼育経験者の意識は、「自分自身が飼い続けられるかどうか」。
- ・ さらに単身のうち、回答対象を 70 歳以上に絞ると、「自身の病気やケガ (36.5%)」に次いで、「ペットの世話ができるかどうか (24.3%)」が心配事項として挙げられ、「ペットの病気やケガ」の回答率が低下するなど、より自分自身が飼い続けられるかという点が心配されているという変化がみられる。



【2】-③もしペット保険に加入するなら、重視するポイントは何ですか？ [複数回答可]

■ 約半数が重視するのは「保険料」

- ・ 飼育経験者 回答合計では「保険料 (47.0%)」が最も重視するポイントという結果となった。
- ☆ 回答者からは、保険料に関して、「0 才から、他社のペット保険に入っているが一度も使ったことがないので、もう少し保険料を節約してもいいかな?と今回思った (43 歳女性)」といったコメントが寄せられた。



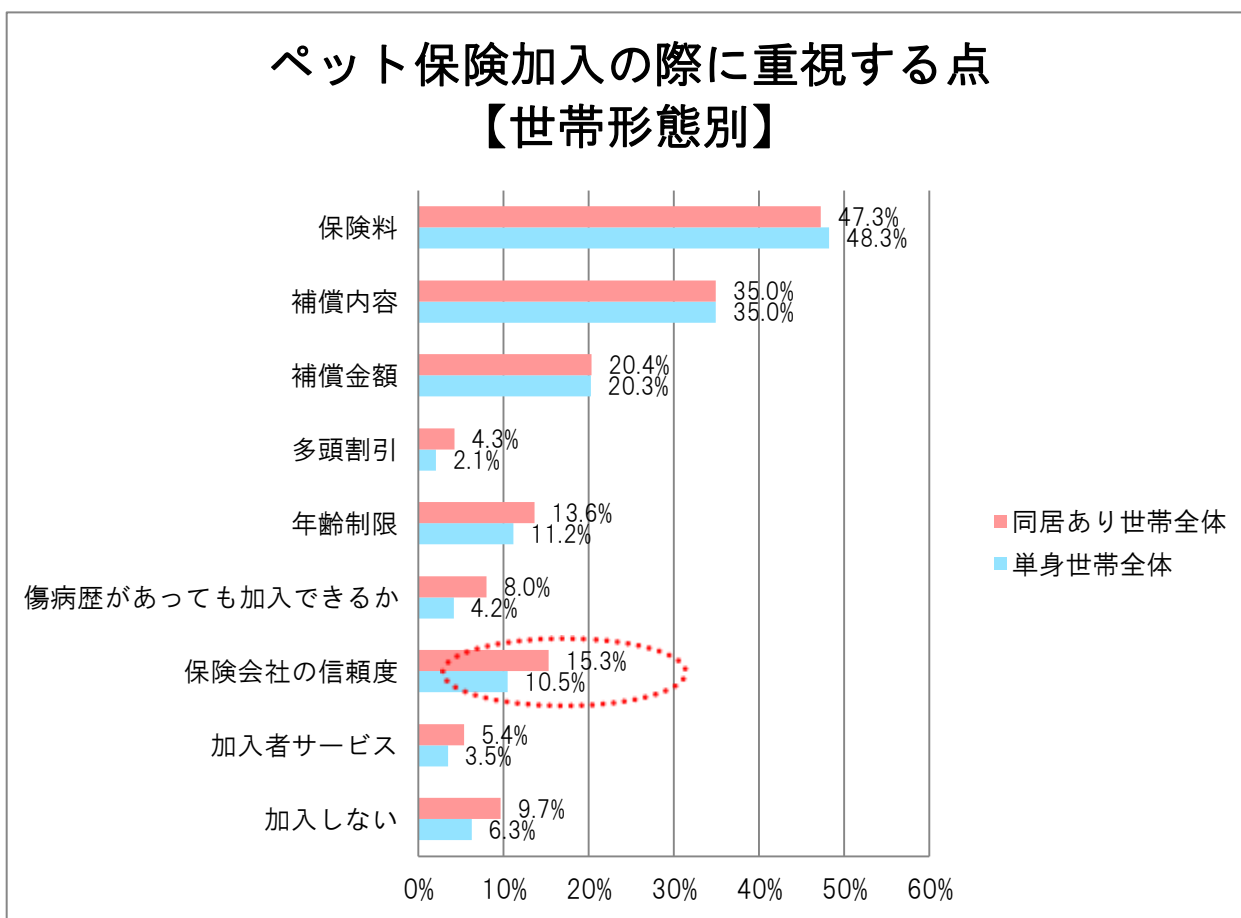
■同居世帯では「保険会社の信頼度」をより重視する傾向

・「保険料」に続き、「補償内容」「補償金額」が挙げられているが、これを世帯別でもみても大きな差はなかったものの、最も差が出たのは「保険会社の信頼度」で、同居（15.3%）に対して単身は10.5%となった。

☆「補償内容」については、「過去に飼っていた犬はアレルギーがあり医療費が負担だったのでアレルギーも補償されるペット保険があれば（74歳女性）」といった声があった。

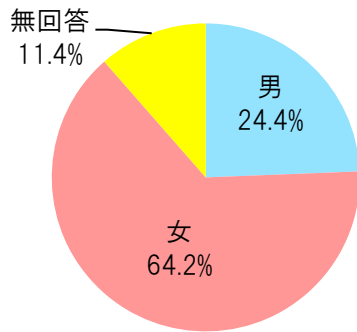
☆「年齢制限」については、回答比率は低いものの、「ペットも高齢になると新たな保険加入が難しいのは理解できるが、年金生活には負担が大きく何とかならないか（68歳女性）」と加入年齢に対する心配の声が寄せられた。

ペット保険加入の際に重視する点 【世帯形態別】

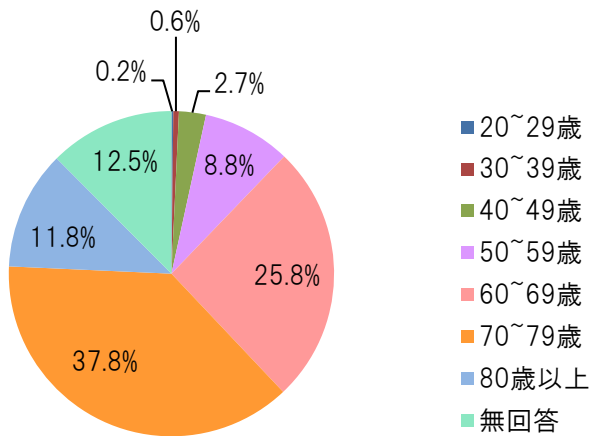


■回答者属性

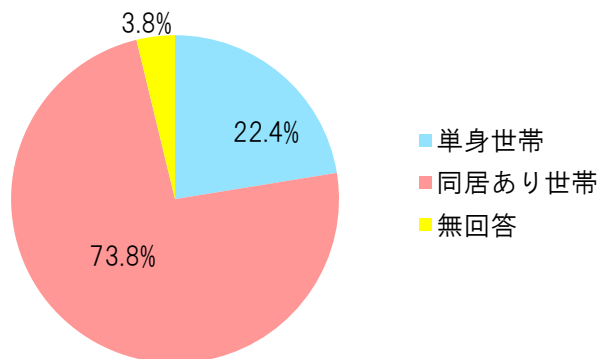
【1】男女別の割合



【2】年齢別の割合



【3】世帯別の割合



以上